

女性デジタル人材育成事業事業【滑川市】

個別事業費	4,868千円
交付金額	3,485千円

地域の実情と課題

市内には工業団地が集積しており、第二次産業の従事者割合が県内平均や全国平均と比べて極めて高く、職場での男女平等が実現できておらず、意欲的な女性の県外転出が続いている。
また、育児や介護等により就労が困難な女性等に対し、これまで就労支援等の具体的な取り組みは実施できていなかった。

目的・目標

女性の育児・介護等との仕事の両立や所得の向上

(事業目標)
事業を通じて就労に結びついた女性の人数:目標8人→実績2人(KPI)
女性デジタル人材育成講座の受講者数:目標10人→実績10人

事業の特徴

育成された女性デジタル人材の受け皿を市内で拡大するため、政策間連携事業として実施する中小企業等DX支援事業と連携し、市内中小企業等のDXの意識の向上や、育成された人材の紹介等を実施した。単にデジタルスキルの習得を目標とするものではなく、デジタル人材としてのマインドセットについての研修や、受講者の起業も見据えた経営者との交流会を開催した。
市内保育所を通して事業周知を行った結果、定員の3倍近い応募があるなど、集客において非常に効果が高かった。

連携団体

富山県が開催した「女性の活躍促進官民連携会議事業フォーラム・DEI企業成長塾」への参加事業者に対し本事業の周知を行い、講座を受講した女性を中心とする市内女性の雇用・キャリアアップの促進を図った。

事業の効果

受講者10人中2人が市内の事業者等からデジタル関連業務を請け負うこととなった(令和8年3月現在)。
また、就労者から「職場におけるシステム操作に抵抗なく対応できている」、「学習内容が実務に直結するデータ処理業務に従事している」との評価を得た。

今後の課題

学習時間の確保や知識定着に苦労している受講生が一定数おり、限られた時間のなかでも理解と定着が進む教材構成や学習導線の工夫など、継続して学習できるよう支援が必要。
政策間連携事業として市内中小企業等にDXの気づきを与え、本事業を受講した女性デジタル人材の円滑な就労を目的としているが、DXに取り組む市内中小企業等はまだまだ少ない状況であるため、さらなる啓発が必要。

事業の概要

(事業内容)

- ・女性の育児や介護と仕事の両立や所得向上等を目的として、リモートワークに必要なスキルやDXの研修を実施
- ・受講した女性に対し、リモートワークの斡旋等の就労支援を実施
- ・交付金対象外事業として実施する、市内中小企業等のDX支援・啓発事業と連携し、市内中小企業等のDX機運を高めることで、講座を受講した女性デジタル人材の受け入れ促進等を図る

女性デジタル人材の育成



(内容)

- ・SAP基本講座
- ・DXリテラシー研修等のeラーニング
- ・マインドセット等の集合研修

就労支援

マッチング

人材育成事業者

滑川市

中小企業支援事業者

研修

啓発

DX
伴走支援

リモートワーク

就労

就労

市内中小企業・
個人事業主など



(内容)

- ・市内中小企業等のDX伴走支援
- ・市内中小企業等へのDX啓発

中小企業等のDX支援・啓発
(対象外事業)